

2006  
3月号

# 川上ダム通信

発行者  
独立行政法人水資源機構  
川上ダム建設所  
〒518 - 0294  
三重県伊賀市阿保 251 番地  
TEL : 0595 - 52 - 1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

## 第4回川上ダム自然環境保全委員会



第4回川上ダム自然環境保全委員会を開催

川上ダム建設所では、これまでに蓄積された前深瀬川流域における自然環境に関する調査・検討を踏まえ、自然環境の保全対策について総合的な観点から専門家による指導・助言を頂くことを目的に、平成12年8月に「川上ダム自然環境保全委員会」を設立し、これまでに3回の委員会を開催してきました。

3月18日(土)、大阪天満研修センターにおいて「第4回川上ダム自然環境保全委員会」を開催し、各委員会等(オオサンショウウオ調査・保全検討委員会、希少猛禽類保全検討会、植物保全

対策に関する技術指導)の審議結果と保全対策「川上ダム自然環境保全計画書(案)」を報告し、専門家からの指導・助言を頂きました。川上ダム建設所では、オオサンショウウオやオオタカ、植物の重要な種について保全対策を検討し一部実施していますが、今後もよりよい保全対策を検討していきます。

なお、委員会の概要は、川上ダムホームページに記載してあります。

【環境課長 野村孝芳】

## 地域との連携、災害時の支援協力 ～協力事業所として防災マップに掲載～

当建設所は、昨年から地域に根ざした活動の一環として、伊賀市商工会青山支部女性部と交流を行ってきました。同女性部は昨年10月から各事業所に対して防災資材提供などの協力依頼や危険箇所の把握を行い、大災害時に地域のために支援ができる協力事業所などを示した防災マップを作成しました。

当建設所も同女性部大田部長から協力依頼を受け、地域貢献のため協力することになり、防災マップに協力事業所として掲載され、防災マップと「地域防災協力店」を示すステッカーをいただきました。我々は、このように地元住民の方々との連携を更に深め、地域に信頼される事業所を目指したいと思います。



防災マップと「地域防災協力店」ステッカー

【通信記者 武村剛泰】

# 川上ダムを支える皆様への事業説明会

平成18年3月9日(木) 川上ダム建設所において、事務所用地及び宿舎用地をお借りしている所有者の皆様を対象に、川上ダム事業進捗状況の説明及び工事現場の視察を行い、10名の土地所有者の皆様が参加されました。

説明会では、恒吉所長が昨年7月1日に国土交通省近畿地方整備局から発表された「淀川水系5ダムの方針」



工事概要の説明に熱心に耳を傾ける皆様

の概要と川上ダムの現状を説明し、続いて、技術担当副所長が現在川上ダムで施行している道路工事の説明をしました。その後、付替県道松青線の工事現場の視察を行いました。土地所有者の皆様への説明会は今年度が初めての取り組みでしたが、来年度以降も説明会を継続して実施する予定です。

【副所長 菊竹昭雄】

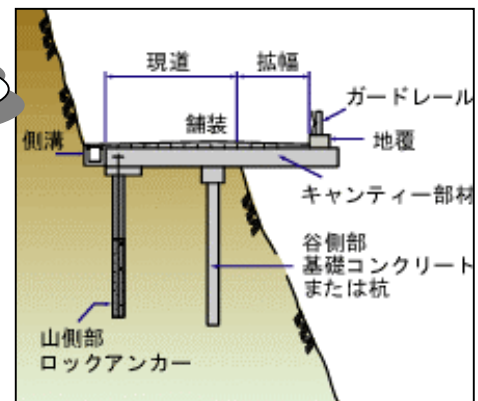


土地所有者の皆様と記念撮影

## 新技術の紹介 ～キャンティール工法～

今回は、建設基礎エンジニアリング株式会社が開発した『キャンティール工法』を紹介します。

キャンティール工法とは、敷設路面上または掘削した路面上に工場製品されたコンクリートスラブを設置して道路を拡幅する、あるいは鋼桁と鉄筋かごを設置し、生コンクリートを現場打設して道路を拡幅する工法です。



キャンティール工法概要図

谷側の地盤支持力が不足している場合は杭工を施工し、山側の負の反力に対してはグラウンドアンカーやロックボルトなどで固定し、安定を図ることが出来ます。

従って、現地山を切土盛土する必要がないので、省資源につながると同時に、自然環境を破壊しないため、21世紀に向けて飛躍することを期待されている画期的な工法です。

【国土交通省ホームページ：新技術情報提供システム (NETIS) より参照】



施工完了写真



# ～平成17年度工事完成報告～

1 付替県道松青線第3工区(その4)工事  
道路延長 = 約 202m、道路幅 = 8m



2 付替県道松青線第3工区(その5)工事  
道路延長 = 約 141m、道路幅 = 8m



川上ダム概要図



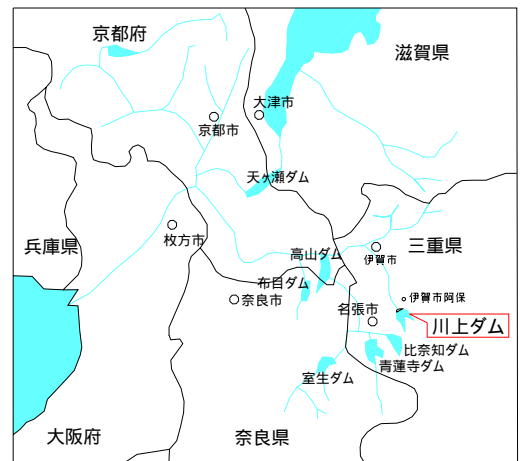
3 付替県道松青線 4号橋橋脚工事  
橋脚高さ = 26m



4 付替県道青美線第3工区(その3)工事  
道路延長 = 約 122m、道路幅 = 8m



5 付替県道松青線第5工区  
落石防止(その3)工事  
対策範囲 = 約 560m



## ～平成17年度工事完成報告～

付替県道松青線第3工区については、約343mを施工しました。また、4号橋下部工について橋台1基、橋脚1基を施工しました(写真1～3)。付替県道青美線第3工区については、現県道との取付区間を施工しました(写真4)。そのほか、付替県道松青線のうち将来落石の危険がある区間について、落石防止柵を設置しました(写真5)。現在の付替道路の進捗率は、付替県道松阪青山線で約82%、付替県道青山美杉線で約19%となっています。

地域の皆様のご理解とご協力をおもひまして、以上のとおり工事を終えることができました。本当にありがとうございました。工事現場周辺は、現在関係者以外は立ち入り禁止となっておりますが、お世話になっている地域の皆様には、これまでの事業の進捗状況を見ていただくため、工事見学会の開催を予定しています。

【工事課 山田英和】

## 再び集え！満開の桜の木の下で...

寒肥としてはやや遅い時期となってしまいましたが、2月24日(金)に川上ダム職員有志で前深瀬川に架かる大井手橋手前の県有地の桜(ソメイヨシノ)の手入れを実施しました。

この桜は、阿保小学校PTAが先生・保護者・地域が一体となった子供の健全育成のための環境作りを行うべく、平成13年11月に『ときめき1,2,3』と銘打ったイベントの一環で、当時の1年生から5年生計18名の児童が植樹した記念の樹木です。

今年の花見には間に合いそうにありませんが、来年こそ、ちらほらでも可憐な花をつけるよう大切に見守っていきたいと思っています。地域の皆様、期待してください！

【副所長 青山太洋】



これからも大事に世話をしていきます

## EVENT

### 上野公園の桜

高さ30mもの急峻な石垣を持つ上野城がシンボルの上野公園には、約800本ものソメイヨシノが咲き、城に霞がかかったような美しさです。

日時/4月上旬～4月中旬

場所/上野公園(伊賀市上野丸之内)

### 桜山公園の桜

ソメイヨシノ約200本が植樹されています。近くには「地震の神様」として有名な大村神社があります。

日時/4月上旬～4月中旬

場所/桜山公園(伊賀市阿保)

### 伊賀上野NINJAフェスタ2006

期間中の主に土日祝日に、第2回全国手裏剣選手権大会など忍者をテーマにしたイベントが盛りだくさん。期間中はホテルや商店など多くの市民が忍者装束でお出迎えし、まさに「忍者の里」そのものです。

日時/4月1日(土)～5月7日(日)

場所/伊賀市上野

## 編集後記

今年度、月1回の発行を目指しこの「川上ダム通信」に取り組んできましたが、職員の皆さん、地域の皆さんの応援のおかげで目標を達成することが出来ました。誠にありがとうございました。

来年度も「川上ダム通信」は続けていきたいと思っておりますので、皆様方のご協力のほどよろしくお願い致します。

広報誌発行事務局

編集長	恒吉	徹(川上ダム建設所長)
デスク	上村	信幸(総務課長)
"	二林	修(工務課長)
通信記者	武村	剛泰(総務課)
"	田中	幸志(工務課)